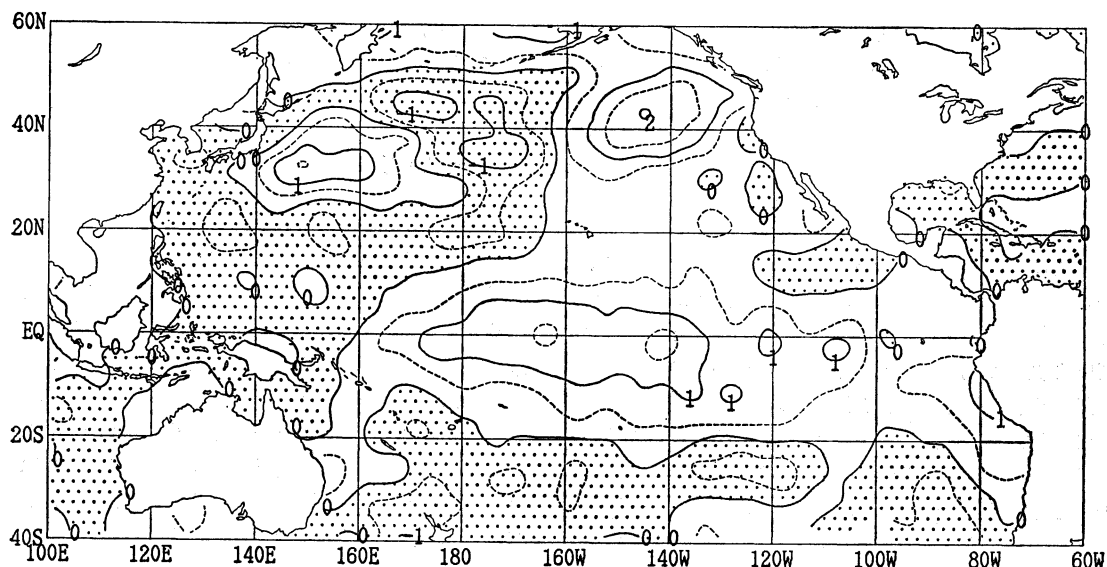
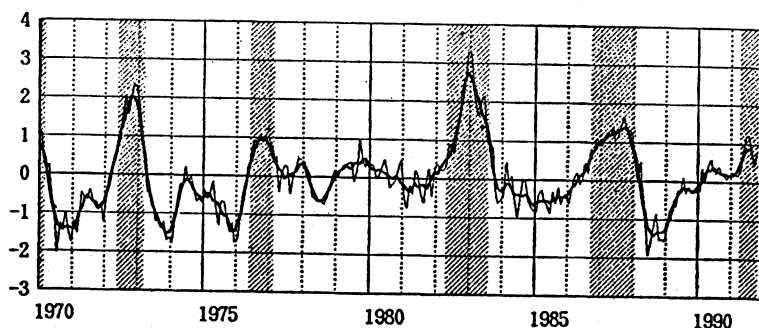


## ENSO の現況 (1991年10月)

本年春に発生したエルニーニョ現象は、現在も継続している。太平洋赤道域の東部では、7月をピークに海面水温の正偏差がいくぶん小さくなっていったが、10月下旬から再び大きくなってきた。一方、南方振動指数(SOI)は2か月続けて大きな負の値であった。

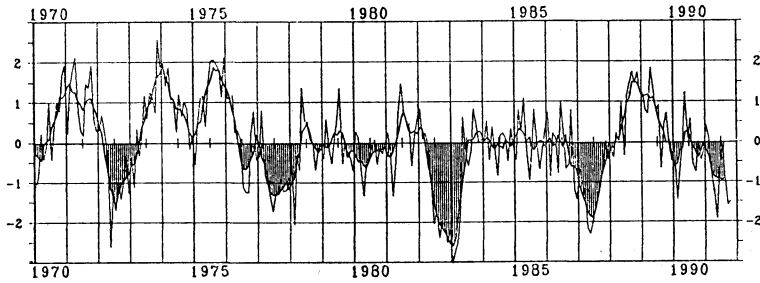


第1図 1991年10月の海面水温平年偏差(°C) 平年値は1961年～1990年の30年平均値。陰影部は平年より低いことを示す。



第2図 エルニーニョ監視海域(150°W～90°W, 4°N～4°S)の月平均海面水温平年偏差の推移(°C)(1970年1月～1991年10月)

細線は月平均値、太線は5か月移動平均値を示し、正の値は平年より高いことを示す。エルニーニョの発生期間に陰影が施してある



第3図 タヒチとダーウィンの海面気圧年偏差の差から求めた南方振動指数 (SOI) の推移 (1970年1月～1991年10月)

細線は月平均値、太線は5か月移動平均値を示し、負の値に陰影が施してある。負の値は、タヒチの海面気圧偏差がダーウィンのそれよりも低いことを示している。

### 「NEWS」欄の拡充について

気候および気候変動の問題は、気象学においては古くからある大きなテーマでありましたが、近年は地球温暖化問題など社会的・政治的にも大きな関心事となってきています。ただ、現在の気候の状況についての情報は、一般の気象学会員のみならず、得られにくいのではないのでしょうか。「天気」では、1984年から月平均500mb天気図とNOAAで解析された「世界の異常天候とその影響評価」の掲載を始め、1987年からは後者を気象庁長期予報課で解析された「世界の天候」の解説と異常天候発生地域分布図に切り替えて、できるだけ新しい気候の情報の提供につとめています。最近、それ

ばかりでなく、海面水温の状況やオゾンやエアロゾルの状況など、気候に影響を与える諸要素についての関心が高くなっており、「天気」でも本年より不定期にはありますが、それらの情報を掲載していく予定です。

今号には、エルニーニョと南方振動(ENSO)の状況について、気象庁海洋課・長期予報課の学会員より情報の提供をいただきました。「情報ファイル」の充実により、「NEWS」欄の性格が変わってきていますが、来年1993年からは、内容を見直し、名称も変更して新規開店したいと考えています。ご意見・要望等を編集委員会までお寄せください。(「天気」編集委員会)

### 講演企画委員会からのお知らせ——研究会活動への援助について

講演企画委員会では、大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し、一般の会員が自由に参加できることを条件として、可能な範囲で援助をします。具体的には、大会プログラム等への提示、講師を呼ぶ場合の報酬・交通費などの補助、会場・機器の手配、時間の調整などが考えられます。支援を希望する方は、右記の事項を明記の上、講演企画委員会へ

申し込んで下さい。

申込先・申込期限：一般講演と同じ

- 記入事項
1. 会の名称とテーマ
  2. 代表者の連絡先
  3. 希望日時・開催場所
  4. 予想参加人数
  5. 希望する支援内容